

ラブに、いこう。

学びをもっと自由に、もっと楽しむ

—知る・出会う・体験する—

その名も

リベラルアーツ アカデミー ふちゅう

Liberal Arts Academy Fuchu(laf.)

「laf.」を教育長に聞く



教育長 門田 雄治

まもなく府中で始まる新しい学び。どんな場所になるのでしょうか。教育長にそのねらいや思いを聞きました。

「リベラルアーツアカデミーふちゅう」が始まります！
愛称は「laf.」(ラブ)。全世代を対象に学べる場所です。
「学ぶ」という行為がもつ本来のワクワク感や満喫感を想起し、笑いも聞こえる気さくな学びの空間を作ります。
市民や学生が講師を担う講座、専門的な講座、いざなりカレッジも含む幅広い講座がラインナップ予定です。
「つながり」と「交流」の生まれる場所へ。笑顔と対話が生まれる府中らしい学びを、市民みんなで一緒に楽しみ、育てていきましょう。
合言葉は「今度laf.に行こう！」です。

laf.を彩る3つのトビラ

01

知の探究

LAB(ラボ)

大学教員や実業家らによる実験的講座。幅広い探究を通じて、新たな視点やアイデアに出会える楽しさを実感できる場です。

02

未来の共創

STUDIO(スタジオ)

身近な疑問や興味・関心をテーマに、大学生や仲間と一緒に「これからの自分」や「人と人とのつながり」を楽しく探究していきます。プレ講座の様子は3ページに→

03

暮らしの実践

ATELIER(アトリエ)

料理やものづくり、地域の歴史・文化などに触れ、暮らしの魅力を再発見する実践的な学びの場です。

「いざなりカレッジ」はここ！



laf.のスタートダッシュを共にするワーキンググループ

今年度、統括アドバイザーの桑田教授をはじめ、府中市出身の大学生、実業家、保育・教育関係者らによるワーキンググループが活動中です。運営への意見交換や開講講座の考案など、全ての世代にわたって学び続けられるよう、府中の学びをともに育てています。



開催された3つのブース



◀▶アトリエブース
…色付きシャボン玉で絵を描く

◀シャボン玉を紙コップ内で作り、紙の上でシャボン玉を割る。これが難しいです！



みんなでつくる1枚の作品ブース
…大きな紙へ参加者みんなで少しずつ描きました！



◀ラボブース
…シャボン玉にまつわる実験・研究のインスピレーションをお届けしました！

↑参加者からは「シャボン玉に蜂蜜を入れたのが、子どもには意外だったみたいで、家でも試してみます！」と声がありました！



「真ん中に描くのは大変だったけど、楽しかったです！」と好評→

interview -府中市出身の大学生講師たち-



武田 桔京さん
同志社大学
文学部



末房 佑佳子さん
同志社大学大学院
総合政策科学研究科



陶山 花さん
名古屋大学
経済学部

きっかけは武田さんの想い。「大学生のうちに、教育的・社会的な活動がしたい」という思いから、恩師などを通じてlaf.のワーキンググループへ参加しました。その考えに陶山さんと末房さんも共感し、「自分たちで盛り上げたい」と参加を決意。

迎えたプレ講座では、子どもたちがシャボン玉に夢中に。「府中で何かを届けられることがうれしい」と手ごたえを感じる一方、「学びをデザインする難しさ」も実感したそう。イベントの楽しさだけでなく、「講座」として学びのある内容を多くの人に受け入れてもらうにはどうすればいいかと、新たな問いも生まれました。「私たちが中高生へ新たな学びを届け、地域とつながりながら、その輪を広げ、さらに活気あふれるまちにしていきたい。」と語る彼らの挑戦は続きます！

laf.の本格的な講座は、これから。
3人をはじめ、多彩な講師による講座を次ページで紹介！

STUDIO プレ講座

シャボン玉で
アートをしよう！

8月30日、TAMスクエアでは本格的な開講に先駆け、企画から講師までをワーキンググループの大学生3人が勤めました。開催されたプレ講座では、約220人が参加しました。